

# 平成27年度病院医学教育研究助成成果報告書

報告年月日：平成28年4月13日

研究・研修課題名	日本血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師認定講習会
研究・研修組織名（所属）	放射線部
研究・研修責任者名（所属）	北昌宜（放射線部）
共同研究・研修者名（所属）	北昌宜（放射線部）

## 目的及び方法、成果の内容

### ① 目的

昨年取得した、日本血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師の資格更新のための単位取得および、基本事項の確認・最新情報を得ること。

### ② 方法

平成27年7月25日に行われた、第8回日本血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師認定講習会に出席した。

プログラムは以下の通り。

- 1 腹部疾患の解剖と診療
- 2 X線装置の構造
- 3 IVRに必要な撮影技術
- 4 脳血管障害の解剖と診療
- 5 血管撮影における画質に影響を及ぼす因子
- 6 心臓（成人）の解剖と診療
- 7 放射線防護

### ③ 成果

講習を受け、基本事項の復習・最新情報のアップデートを行うことができた。

また、資格更新のための30単位のうち10単位を取得できた。

#### 1 腹部疾患の解剖と診療

腹部の血管解剖について正常例や解剖学的変異の場合について。

肝臓の区域分類について。

腹部血管IVRについて。

- A) 穿刺と合併症
- B) 肝細胞癌への治療
- C) 内臓動脈瘤のコイル塞栓
- D) ステンントグラフト留置

E) 下大静脈フィルタ留置

F) 出血

腹部の血管や、各手技の手順や注意すべきポイントの理解を深め、臨床においてスムーズに IVR の支援を行うことができるようになった。

## 2 X線装置の構造

QCについて。

医療機器の保守点検について。

受け入れ試験について。

日常点検について

X線装置の構造や日常点検で注意すべきポイントについての理解を深め、毎日の始業点検にもいかしている。

## 3 IVRに必要な撮影技術

造影剤とその副作用について。

循環器領域・四肢領域・頭部領域・腹部領域の解剖から、IVR支援技術のポイントについて。

チーム医療について。

各診療科のIVRにおいて、放射線技師としてどのようにIVRに携わっていくべきなのか再度考えるきっかけになり、チームとして自分にできることを考えながら業務を行えるようになった。

## 4 脳血管障害の解剖と診療

脳梗塞について。

脳梗塞に対するIVRについて。最新の血栓回収デバイスの説明まで。

頸動脈狭窄症について。

頸動脈狭窄症に対する血管内治療(CAS)について。

脳動静脈奇形について。

脳血管内治療における最新の情報を得ることができた。またIVR中に放射線技師に望むことについての話もあり、臨床にもいかしている。

## 5 血管撮影における画質に影響を及ぼす因子

画質特性の特徴および近年の変化について。

代表的な画像処理と画質特性について。

画質の評価方法について。

画像処理による画質の変化についての理解を深め、臨床で最適な画像を提供できるように心がけている。

## 6 心臓(成人)の解剖と診療

心臓・冠動脈の解剖について。

冠動脈疾患・弁膜症・心筋症・心膜疾患・不整脈・肺塞栓症・大動脈疾患・抹消血管疾患について。

基本的な心臓・冠動脈の解剖から、循環器領域でカテーテル検査・治療を行う疾患とその手技やポイントについて理解できた。

## 7 放射線防護

医療における放射線防護の考え方について。

放射線の人体に与える影響について。

基準線量の測定方法について。

患者・術者の放射線防護について。

放射線防護領域の最新トピックスから、患者や術者被曝低減の工夫など、参考になる内容が非常に多く、さっそく臨床においてそれらのことを実践している。